

# 地域がん登録 2008～2010年集計結果

## 1. 悪性新生物患者届出票・遡り調査票提出状況

### ○ 届出票(病院・診療所)

	届出件数
平成23年度	6, 527件
平成24年度	5, 695件
平成25年4～8月	2, 223件

### ○ 遡り調査(病院)

	対象件数	提出件数
平成23年	1, 153件	961件
平成24年	1, 066件	811件
平成25年	980件	713件

▶ 平成25年は8月末現在

# 協力状況病院一覧

## 官立病院

医療機関名	届出票	遡り調査
山梨県立中央病院	●	●
山梨大学医学部附属病院	●	●
市立甲府病院	●	●
富士吉田市立病院	●	●
甲府病院	●	●
山梨市立牧丘病院	●	●
甲州市立勝沼病院	○*1	●
飯富病院	●	●
市川三郷町立病院	●	●
韮崎市立病院	●	●
北杜市立甲陽病院	●	●
北杜市立塩川病院	●	●
大月市立中央病院	○*1	●
都留市立病院	●	●
上野原市立病院	●	○*1
社会保険山梨病院	●	●
社会保険勤労者病院	●	●
山梨赤十字病院	●	●

## 民間病院

医療機関名	届出票	遡り調査
甲府城南病院	●	●
甲府聖神経外科病院	●	●
甲府共立病院	●	●
三枝病院	○	○
恵信甲府病院	●	●
加納岩総合病院	●	●
山梨厚生病院	●	●
富士温泉病院	●	●
塩山市民病院	●	●
笛吹中央病院	●	●
石和温泉病院	●	●
一宮温泉病院	●	●
石和共立病院	●	●
しもへ病院	●	●
身延山病院	●	●
宮川病院	●	●
巨摩共立病院	●	●
高原病院	●	●

\*精神科・リハビリテーション病院を除く

医療機関名	届出票	遡り調査
白根徳洲会病院		●
韮崎相互病院	●	○
武川病院		○
湯村温泉病院	●	●
赤坂台病院		●
城東病院	●	●
りほく病院		○

- : 提出あり
- : 遡り調査提出なし
- \*1 : 提出予定

## 2. データの精度

- 山梨県のデータ精度はMCIJ掲載基準を満たしている。全国比較しDCNは高いが、DCOは低く、精度は高い。

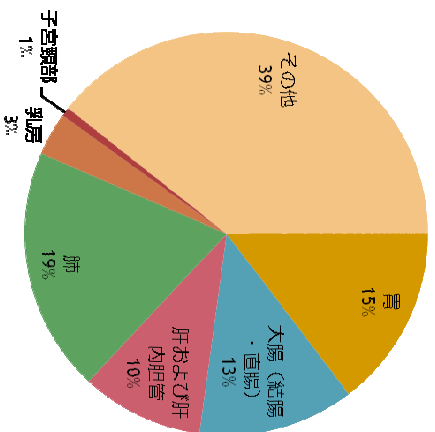
	DCN	DCO
MCIJ掲載基準	30%未満	25%未満
全国	20. 2%	13. 6%
山梨県	<b>2008年 (確定値)</b>	<b>29. 8%</b>
	2009年 (暫定値)	25. 6%
	2010年 (暫定値)	30. 6%
		13. 9%

- MCIJ : 全国がん罹患モニタリング集計
- DCN : death certificate notifications
- DCO : death certificate only
- 死亡診断書で初めて把握されたがん症例
- 死亡診断書以外の情報がない症例

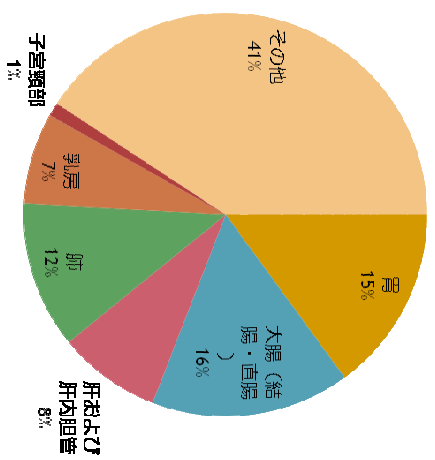
### 3. 全国と山梨県の罹患数比較(2008年)

- 全国に比べ、大腸、乳房の罹患数割合が高く、肝臓、肺の罹患数割合は低い。

全国・罹患数割合(男女計)



山梨・罹患数割合(男女計)

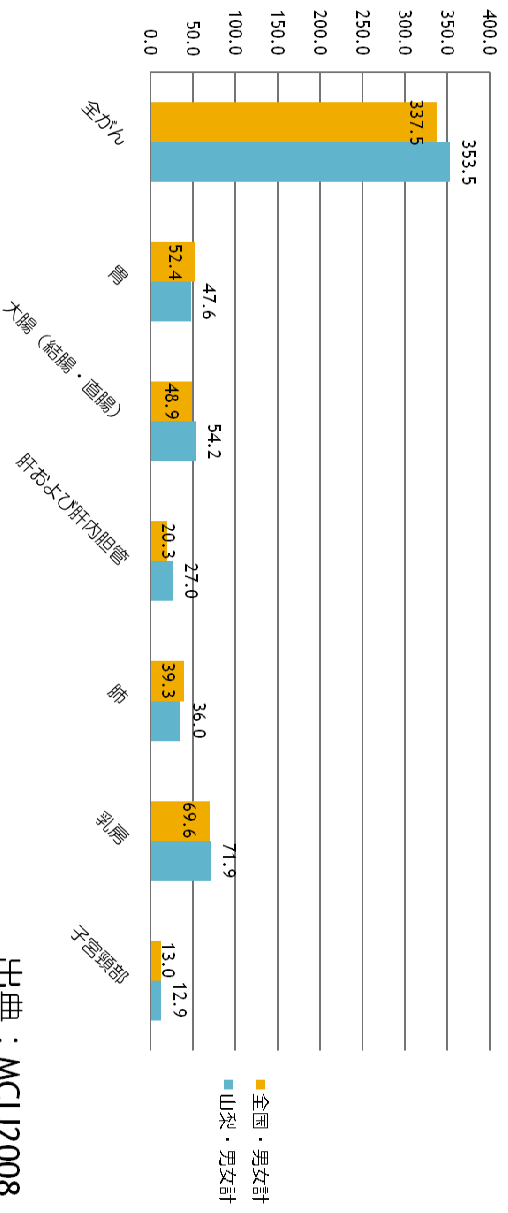


出典：MCIJ2008

### 4. 全国と山梨県の年齢調整罹患率比較(2008年)

- 全国に比べ、全がんの年齢調整罹患率は16ポイント高い。
- 特に肝臓は6.7ポイント高い。
- 胃は4.8ポイント低い。

年齢調整罹患率比較(男女計)



出典：MCIJ2008

## 5. 発見経緯と進行度割合

- 2008～2010年の3年間の地域がん登録データのうち、『5大がん+肝がん』（上皮内がん含む）について分析

### ○ 発見経緯：

- ① 「検診」：「がん検診」及び「健診・人間ドック」
- ② 「他疾患経過観察中」
- ③ 「自覚症状・その他・不明」

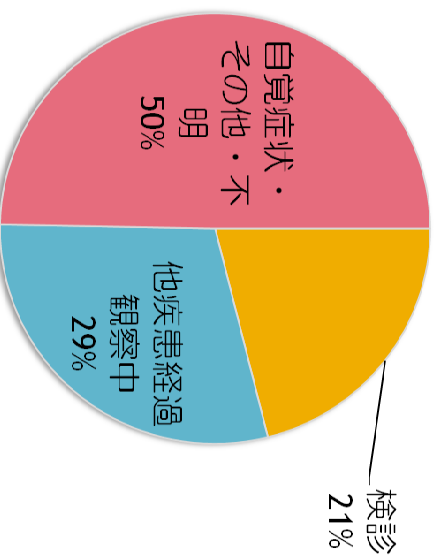
### ○ 進行度割合：

- ① 上皮内
- ② 限局
- ③ 所属リンパ節転移
- ④ 隣接臓器浸潤
- ⑤ 遠隔転移
- ⑥ 不明

## ①「5大がん+肝がん」

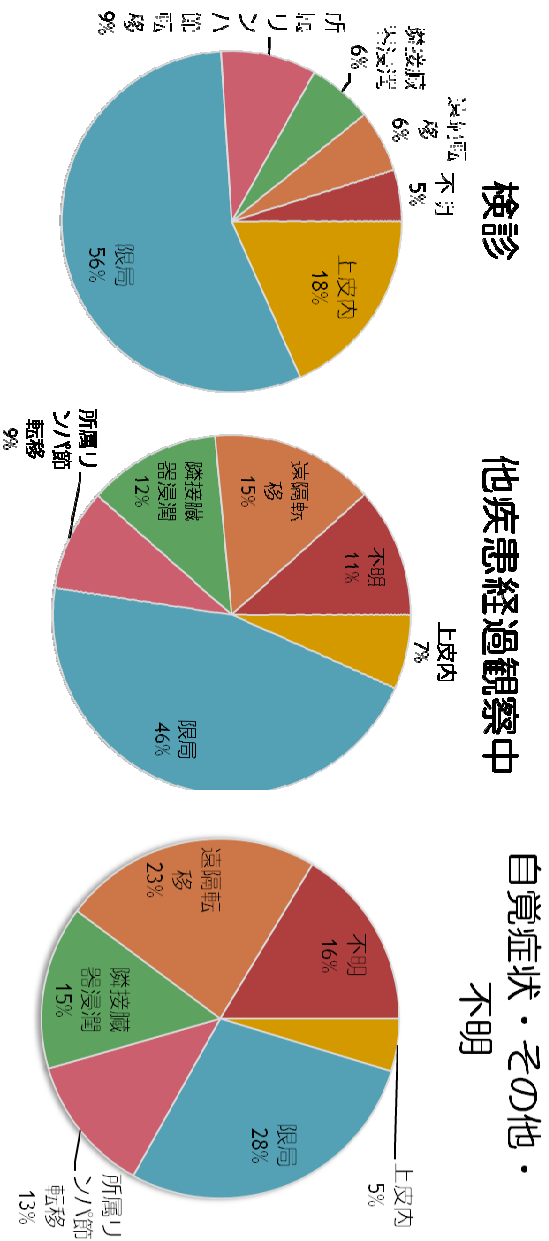
### 発見経緯

- 「検診」での発見は2割、「自覚症状等」が半数を占める。



## 発見経緯別臨床進行度

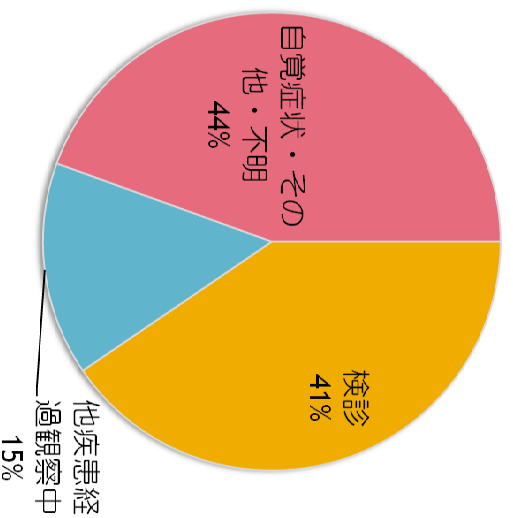
- 「検診」で、3/4は「上皮内」「限局」の早期に発見。
- 「他疾患経過観察中」では1/2、「自覚症状等」では1/3と早期発見割合は低下。



## 子宮頸がん

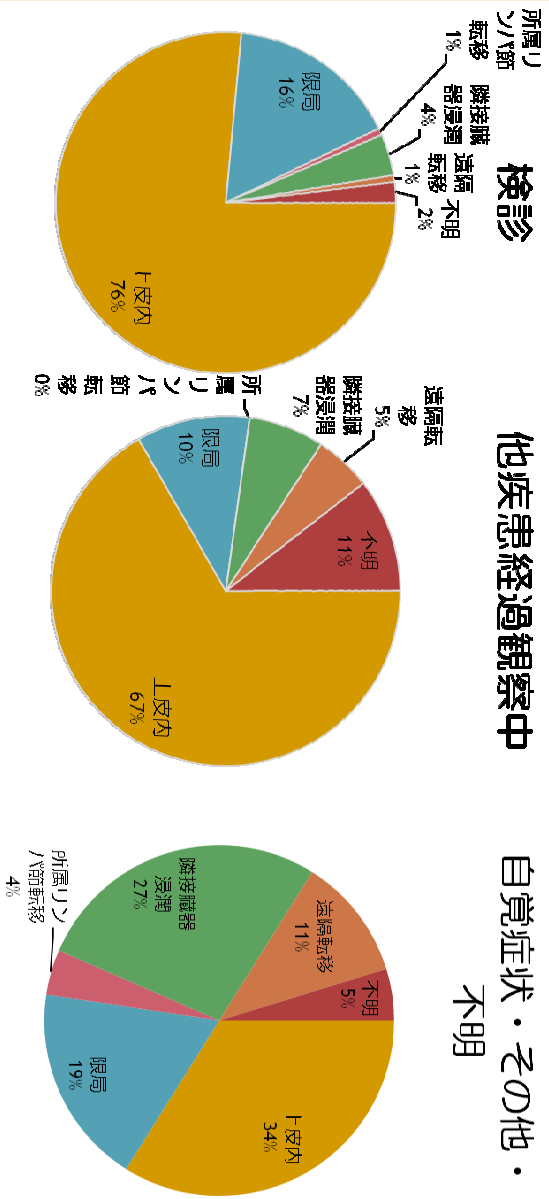
### 発見経緯

- 「検診」が4割を占めている。



## 発見経緯別臨床進行度

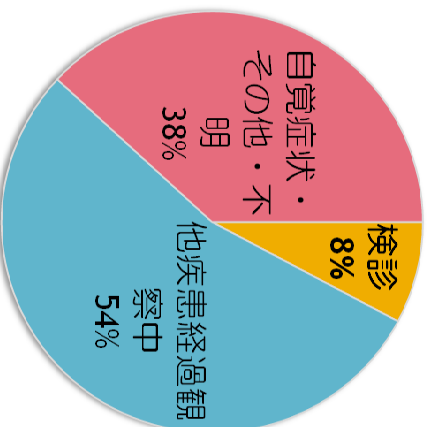
- 「検診」では「上皮内」が76%、「限局」も含めると、早期発見は92%。



## 3 肝がん

### 発見経緯

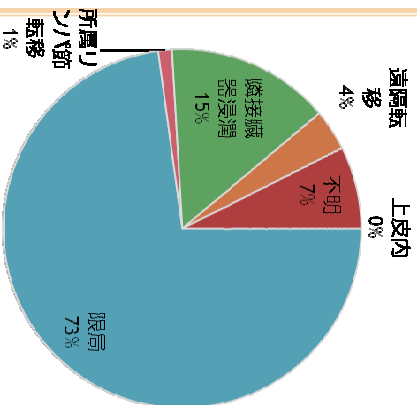
- 「検診」は8%と少なく、「他疾患経過観察中」が54%と半数を占めている。



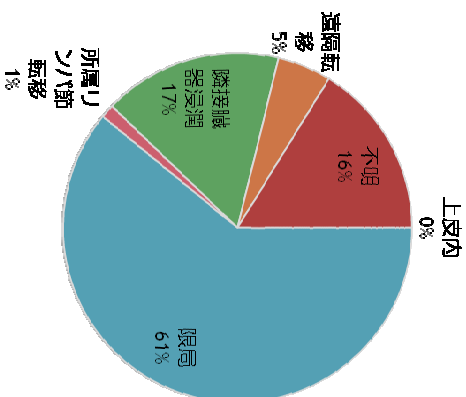
## 発見経緯別臨床進行度

- 「限局」で発見される割合は「検診」が73%と最も高く、「他疾患経過観察中」は61%である。

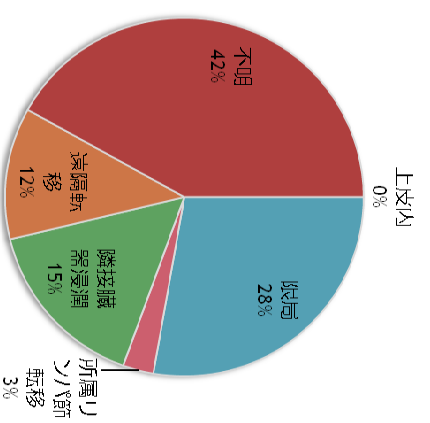
### 検診



### 他疾患経過観察中



### 自覚症状・その他・不明



## ④まとめ

- 「検診」において早期発見されている。

- がん検診受診率

国民生活基礎調査 (H22 69歳以下)

胃	37.4%	大腸	29.0%	肺	31.9%
乳房	40.9%	子宮頸部	31.3%		

<参考> 全国 (H22 69歳以下)

胃	32.3%	大腸	26.0%	肺	24.7%
乳房	30.8%	子宮頸部	28.7%		



検診受診率向上の取組みが重要

『さあ行くじゃん！がん検診』